MESSEGE

ノルウェーの劇作家ヘンリック・イプセンはこう言いました。
『社会は一つの船のようなものだ。だれもが舵をとる準備をせねばならない。』と。
そう！地域社会の課題を解決するのにも地域を向上させるのにも、行政だけが動いてもダメなんです！豊かなスキルや経験を多く持つ大人が活動するだけでもダメなんです！活力あふれる中高生が考えるだけでもダメなんです！それを実際に行動に起こし！実践し！地域住民を巻き込んで、またそれとともに実現を目指さないと意味がないんです！地域を変えるためには地域が動かなければならない、一人一人が舵を取って船を動かす、まさにそういうことなんです。

12月9日　地域教育実践交流集会（文部科学省委託事業）における発表
市ケ尾ユースプロジェクト高校生のむすびの言葉

青葉区には社会で活躍した豊かな経験を持つ方が数多くいらっしゃいます。「市ケ尾ユースプロジェクト」は、そんな大人の方たちをサポーターとして、市高生と市ケ尾中学校の生徒が地域の課題解決や魅力アップに向けて、アイデアを具体的な企画にし、まちの未来づくりにチャレンジしています。
本校では、地域課題解決型キャリア教育及び生徒会活動の一環として位置付け、都市部進学校のコミュニティ・スクールの取組として、すでに全国的に注目され始めています。生徒の資質・能力、そして可能性がさらに広がることを期待しています。

神奈川県立市ケ尾高等学校校長　増渕　広美

中高生が考えてきたことや思いついたアイデアを付箋に書いてボードに貼りながら討議を進める中、じっくり話を聞いているサポーターのアドバイスを受け、学校では学ぶことのむずかしい貴重な体験をしています。
今後必要となる「主体的・対話的で深い学び」を進めたり、「協働的問題解決力」を身に着けるためには、地域の多様な人材と協働的に課題に取り組むことが効果的です。学習指導要領改訂の方向性や本校の重点取り組みであるESD（持続可能な開発のための教育）、キャリア教育の観点と通じる「市ケ尾ユースプロジェクト」は次世代を担う生徒にとって大変有意義であると考えています。

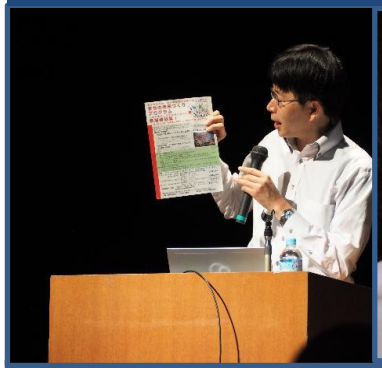
横浜市立市ケ尾中学校校長　坂村　暁

まちと学校のみらい
Future Community And School

特定非営利活動法人まちと学校のみらい
http://www.npofocas.org/
子どもを地域全体で育み、より良い地域にしていくための営みとして、社会総がかりで教育に関わり、大人も子どももともに学ぶ地域協働の場を創ることをめざしています。
市ケ尾ユースプロジェクトでは、学校と地域と行政をむすぶコーディネートをしています。

市ケ尾中学校・市ケ尾高校の生徒による、まちの未来づくり

市ケ尾ユースプロジェクト 2017



2017年（平成29年）12月発行

主催　青葉区役所　ＮＰＯ法人まちと学校のみらい

市ケ尾ユースプロジェクトとは

豊かな経験を持つ大人と中高生が力を合わせ、まちづくりの課題やまちの魅力アップに取り組むことで、多世代交流によるこども・若者の育成支援を行っています。

★プロジェクトを企画した背景には　**2つの“もったいない”があります。**

◆青葉区にはさまざまな経験をもつ人材がいるにもかかわらず、地域の活動に参画できていない人も多い。
（例：忙しいビジネスパーソンにとっては帰って寝るだけの地域になっている？）

◆中高生のもつ力、ポテンシャルは高いにもかかわらず、地域や実社会との接点をもつ教育活動が多く行われているわけではない。
（例：「こんな社会課題に取り組みたいから、この学校・学部を進路先に選ぶ」と言える中高生は少ない。）

現状	めざす姿
● 子どもの教育や健全育成には関心があっても、なかなか地域や学校には入っていけない人材は多い。（退職後のシニア人材、子育て中の方または子育てひと段落後の方、学生等） ● とくに青葉区では上記のなかに優れたスキルや経験をもつ方も多い。	➢ 多種・多彩な人材が子どもの育成に深く関わることができるきっかけと人材育成の場をつくる。 ➢ 会議ばかりではなく、具体的な活動を通して地域をよりよくしていける場をつくる。
● 中高生の多くは、自分の夢、志を強くもてないままに、学力など限られた情報で進路先を選ぶ傾向にある。 ● 進路指導やキャリア教育が、多様な生き方や仕事、地域を考えられる場にはなっていない。	➢ 中高生は、地域人材のさまざまな生き方に触れることで、自分の進路を考えることができる。 ➢ 青葉という地域に愛着をもつ人材が老若男女増える。

＜市ケ尾ユースプロジェクトが大切にしていること＞

★簡単な正解はない、ホンモノと出会う。

・学校の勉強やテストでは、たいてい答えはひとつと決まっています。
・しかし、地域課題や社会の現実はちがいます。大人だって、どうしたらよいか分からず、ときには悩みながらチャレンジしています。
・中高生たちには今回、社会のそんなリアルを見せ、大人たちと一緒に考えます。

★行動する、やってみる。

・大人たちは会議が大好きです。でも、会議だけ続けても現実は変わりません。
・プロジェクトでは限れた時間のなかではありますが、実践することを重視します。

★市ケ尾高校、市ケ尾中学、青葉区、NPOなど多様な主体が協力する。

プロジェクト始動！

7月 8日　**あおばセカンドキャリアフォーラム**
講演　金子郁容氏（慶応義塾大学名誉教授）
鷲尾公子氏（ＮＰＯ法人グループ藤理事長）
市ケ尾ユースプロジェクトについてプレゼン
第1回　ワークショップ
「中高生の今を知ろう！」「自己紹介」

7月12日　**中高生のためのオリエンテーション**
「まちの今と未来について考えてみよう」
東急電鉄、青葉区役所区政推進課から
青葉区のまちづくりについてお話しいただきました。

7月17日　**第2回ワークショップ**
・「先進事例から学ぶ、中高生と地域の人のまちづくり」
講師　浦崎太郎氏（大正大学地域構想学部教授）
・ＷＳ　中高生との接し方・大人が心がけたいこと

8月 3日　**第3回ワークショップ**
「中高生と一緒に、まちの課題や魅力アップを考える」
中高生の提案を発表。大人も加わり5チームに。

8月23日　**第4回ワークショップ**
9月15日　**第5回ワークショップ**
10月 4日　**第6回ワークショップ**
11月 3日　**青葉区民まつり**　チームごとに活動
第7回　ワークショップ　振返り

今後の予定

12月5日・1月9日・1月23日　ワークショップ
2月20日　成果発表会
（ゲスト浦崎太郎氏・青葉区小池区長）
3月10日　セカンドキャリアフォーラム
クロージングイベントでの発表
12月8・9日 地域教育実践交流集会（愛媛県）で発表